

「私たちはこのキリストを宣べ伝え、あらゆる知恵をもって、すべての人を諭し、すべての人を教えています。すべての人を、キリストにあつて成熟した者として立たせるためです。」

コロサイ人への手紙 一章二八節

この年は、コロナ禍のなか例年とは異なる対応を迫られての教会活動ですが、主の豊かな恵みの中に創立八六年を迎えることができ、心から感謝いたします。

この時代、この時に、私たちがシオン教会に導かれていることの背後に神様の導きがあることを信じています。神様の摂理によってシオン教会に導かれた者にとって、神はこの教会を何のために起こされ、何を目指しているのかを正しく捉えることは大切

なことです。冒頭のみ言葉は、創立者が教会の開拓にあたり与えられたみことばです。

このみことばから教えられるのは、第一に、教会の使命はイエス・キリストによる十字架の救い「福音」を宣べ伝えることにあるということとです。聖書の言葉を「余すところなく宣べ伝え」、「論し」「教え」ることのバランスを大切に、いつも宣教に心を向ける教会でありたいと思います。

第二に「すべての人を、キリストにあつて

成熟した者として立たせる」ことが、私たちが目指すべきことです。すべての人が神の視点で物事を見、キリストにあつてすべてを判断し対応できる成熟したクリスチャンになることです。霊的成熟とは個人宗教の確立でもありません。この起点を忘れてしまつては、シオン教会の存続の意義は薄れてしまつてしまうでしょう。

第三は、きよめの恵みを受け継ぐ者となることです。ホーリネスの恵みが、生きた宣教、生きた信仰と繋がり、生きたビジョンを生み出すのです。この創立の月、私たちの使命をもう一度新たにし、更なる前進をさせたいだけましよう。

【報告 消息】

・林眞光修養生

先週は短期間でしたが夏休みで実家に帰省しました。

9月11日(金)～17日(木)は沼津シオンへ実習奉仕です。礼拝での証し、祈禱会での説教、子ども集会の担当、地域へのチラシ配布などの予定です。コロナ禍にあつてイレギュラーな動きが多い修養生1年目ですが、一つひとつが主の器としての良き訓練となるようにお祈りください。

■8月30日 礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 29名

第2礼拝 38名

小学科礼拝 小3名 中高2名

■支援献金募集 九州南部等豪雨災害

支援金を受け付けています。被災地域、被災者の方を覚えて祈りましょう。

大型の台風が日本、特に西日本に接近しています。各地が守られるようにも祈りましょう。

■9月の礼拝説教箇所と説教者

6日 創立記念礼拝 石田牧師

13日 ホセア書 いつ子牧師

20日 ゼカリヤ書 石田牧師

27日 箴言 荻野牧師

石田牧師は横浜教会に出向

■次週 礼拝説教箇所「ホセア書」

ホセアとは「主は救う」「主は救い」の意味です。北イスラエル王国が滅亡する直前の混乱の時代に、神の恵みによる回復が語られました。イスラエルは神への背信の罪故に滅びを免れない状況にありましたが、なおも神は彼らが帰ってくることを待ち望んでいたのです。

神の思いがホセアの結婚生活に反映されたところ(1～3章)がホセア書の独特な点です。神は、ホセアに姦淫の女性であるゴメルを妻とし、のちに彼女が不貞を犯しても迎えて回復するようにとホセアに命じています。これはまさに神の忍耐深い愛の姿を示すものです。

ぜひ、礼拝までにご一読ください。

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください